

科目名：病態と治療論Ⅳ (Pathology and treatment Ⅳ) 履修年次/時期：1年次 後期 授業形態：講義 担当教員： 中村仁志(実務経験有) 橋本達夫(実務経験有) 上西由美(実務経験有)		必	2 単位 (90 時間)
学修目的	脳神経系、感覚器、運動器、女性生殖器、腎泌尿器、の主要な疾患の特性と治療法について学び、看護に必要な観察、アセスメントに活かす思考を育てる。 CP2, 3に関連する。 科目 No.KSI-121		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。		○	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 脳神経系疾患の特性(症状、徴候、治療関連要因)が理解できる。 2. 主な感覚器疾患の特性(症状、徴候、治療関連要因)が理解できる。 3. 主な腎泌尿器疾患の特性(症状、徴候、治療関連要因)が理解できる。 4. 主な女性生殖器疾患の特性(症状、徴候、治療関連要因)が理解できる。 5. 主な運動器疾患の特性(症状、徴候、治療関連要因)が理解できる。		
授業概要	疾患の原因/症状/診断/検査/治療を学ぶ。脳神経系/感覚器/運動器/女性生殖器/腎泌尿器の疾患を学ぶ。臨床判断能力を大切に観察、アセスメント、看護に活かせるよう思考の連続性を意識して学ぶ。		
評価方法	定期テスト 100% 試験に対するフィードバックは翌年の精神看護学概論の中で行う。		
予習・復習時間	【予習】 2.0 時間 【復習】 2.0 時間		
教科書	a.系統看護学講座 成人看護学(6) 内分泌・代謝 医学書院 b.系統看護学講座 成人看護学(7) 脳神経 医学書院 c.系統看護学講座 成人看護学(8) 腎・泌尿器 医学書院 d.系統看護学講座 成人看護学(9) 女性生殖器 医学書院 e.系統看護学講座 成人看護学(10) 運動器 医学書院		

	<p>f.系統看護学講座 成人看護学（12）皮膚 医学書院</p> <p>g.系統看護学講座 成人看護学（13）眼 医学書院</p> <p>h.系統看護学講座 成人看護学（14）耳鼻咽喉 医学書院</p>
参考書	授業中に適宜紹介します。
お問い合わせ 連絡先	<p>不在時はメールでの連絡をお願いします。</p> <p>中村仁志：3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp</p> <p>橋本達夫：附属病院 中村にメール</p> <p>上西由美：3号館3階 共同研究室 kaminishi@kdu.ac.jp</p>

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	<p>ガイダンス</p> <p>1.脳神経の疾患による障害の理解</p> <p>①脳神経系の構造と機能が理解できる。</p> <p>②脳神経系の障害によって起こる症状が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書b.P9～16 のB患者の特徴と看護の役割を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]ウィリス動脈輪、脳神経、脊髄神経、自律神経、JCS, GCS</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
2 (/)	<p>2.脳疾患の理解</p> <p>①脳血管障害の特性が理解できる。</p> <p>②脳腫瘍の特性が理解できる。</p> <p>③頭部外傷の特性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書b.P122～147を読み脳血管障害の種類を確認しておく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード] 解離性脳動脈瘤、アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、心原性脳塞栓症、グリオーマ、慢性硬膜下血腫、脳挫傷</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
3 (/)	<p>3.脳脊髄液の異常・脊髄疾患の特性</p> <p>①水頭症の特性が理解できる。</p> <p>②脊髄疾患の特性が理解できる。</p> <p>③神経系疾患の特性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書b.P158～161の④脳脊髄液の異常を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]脳脊髄液減少症、亜急性脊髄炎</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
4 (/)	<p>4.筋・神経・脱髄・変性疾患の特性</p> <p>①末梢神経障害の特性が理解できる。</p> <p>②筋ジストロフィーの特性が理解できる。</p> <p>③重症筋無力症の特性が理解できる。</p> <p>④多発性硬化症の特性が理解できる。</p> <p>⑤脳の変性性疾患の特性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書b.P168～176のC末梢神経障害を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]ニューロパチー、ミオパチー、パーキンソン病、認知症</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
5 (/)	<p>5.眼と眼神経・眼周囲の疾患</p> <p>①眼と眼神経の構造機能と検査の関連が理解できる。</p> <p>②眼・眼神経・周囲の機能障害の特性が理解できる。</p> <p>③眼・眼神経・周囲の部位別疾患の特性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書g.P14～26の第2章眼の構造と機能を読み、構造と機能を確認しておく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]斜位、麦粒腫、眼瞼下垂、網膜剥離</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
6 (/)	<p>6.耳鼻咽喉の疾患の特性</p> <p>①耳鼻咽喉と頸部の機能と検査の関連性が理解できる。</p> <p>②耳鼻咽喉・頸部の疾患の特性が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書h.P22～42の第2章耳鼻咽喉・頸部の構造と機能を読み、構造と機能を確認しておく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]眩暈、顔面神経麻痺、慢性副鼻腔炎、嗅覚障害、味覚障害、メニエール病</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>

7 (/)	7.皮膚疾患の特性 ①皮膚の構造と機能が理解できる。 ②皮膚疾患の検査と治療の関連が理解できる。 ③皮膚疾患の特性が理解できる。	[予習]教科書 f.P8 の①皮膚疾患の特徴と看護の役割を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]皮膚掻痒症、ツベルクリン反応、湿疹、蕁麻疹、サルコイドーシス	講義 ○中村
8 (/)	8.腎・泌尿器の構造と機能 ①腎臓と泌尿器の機能と関連性が理解できる。 ②主な腎・泌尿器疾患と検査との関連が理解できる。	[予習]教科書 c.18~30 のA腎臓の構造と機能を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]ネフロン、糸球体、ヘンレループ、クリアランス試験、逆行性腎盂造影、腎シンチグラフィ	講義 ○橋本
9 (/)	9.腎臓と泌尿器疾患の特性 ①主な腎・泌尿器疾患の特性が理解できる。 ②主な腎・泌尿器疾患の治療の基礎的知識が理解できる。	[予習]教科書 c.P52~53 の循環器系の異常①高血圧を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]糸球体腎炎、AKI、CKD、ネフローゼ症候群	講義 ○橋本
10 (/)	10.腎・泌尿器と全身症状、男性生殖器の疾患 ①全身疾患と腎・泌尿器との関連が理解できる。 ②主な男性生殖器の疾患の特性が理解できる。	[予習]手術療法が必要な口腔疾患について調べておくこと。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]糖尿病性腎症、人工透析、CVD、全身性エリテマトーデス、陰嚢水腫	講義 ○橋本
11 (/)	11.女性生殖器の構造・機能と検査 ①女性生殖器の発達と構造機能を理解できる。 ②女性生殖器疾患の症状と検査の関連性が理解できる。	[予習]教科書 d.P20~26 のA女性生殖器の構造を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]コルポスコプ、ラパロスコプ、ダグラス窩穿刺	講義 ○上西
12 (/)	12.女性生殖器の疾患と治療 ①主な女性生殖器疾患の特性が理解できる。 ②主な女性生殖器疾患の治療と援助が理解できる。	[予習]教科書 d.P98~102 のA性分化疾患を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]臓器別疾患、機能的疾患	講義 ○上西
13 (/)	13.運動器の構造と機能 ①運動器の構造と機能が理解できる。 ②運動器と身体機能との関連が理解できる。	[予習]教科書 e.P20~41 の第2章運動器の構造と機能を読んでおく。 [復習]授業内容を整理し、理解を深める。 [キーワード]関節可動域、運動ニューロン、筋肉、腱と靭帯	講義 ○中村

14 (/)	<p>14.運動器疾患の特性</p> <p>①主な運動器疾患の特性が理解できる。</p> <p>②主な運動器の症状と検査の関連が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書 e.P110~116 のD 神経の損傷を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]骨折、捻挫、関節リウマチ、骨粗鬆症、ガングリオン</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>
15 (/)	<p>15.運動器とリハビリテーション</p> <p>①運動器障害による全身性疾患との関連性が理解できる。</p> <p>②運動器障害におけるリハビリテーションの必要性和効果が理解できる。</p> <p>③運動器と神経の関連が理解できる。</p>	<p>[予習]教科書 e.P183~185 のフレイル、サルコペニア、廃用症候群を読んでおく。</p> <p>[復習]授業内容を整理し、理解を深める。</p> <p>[キーワード]腰椎椎間板ヘルニア、末梢性ニューロパチー、筋ジストロフィー</p>	<p>講義</p> <p>○中村</p>